

都市再生整備計画 事後評価シート
仙台都心地区

令和8年2月

宮城県仙台市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	宮城県	市町村名	仙台市	地区名	仙台都心地区			面積	429.2 ha
交付期間	令和3年度～令和7年度	事後評価実施時期	令和7年度	交付対象事業費	2,669.6 百万円	国費率	0.5		

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業	事業名																		
		基幹事業	公園(榴岡公園、肴町公園、仙台駅東1号・2号公園)、滞在環境整備(定禅寺通、青葉通、宮城野通、肴町公園、榴岡公園)	提案事業	なし	事業名		削除/追加の理由		削除/追加による目標、指標、数値目標への影響										
	当初計画から削除した事業	基幹事業	公園(肴町公園)	災害時の地域利用の観点から、別事業(防交)として実施することとしたため、令和6年度に削除	肴町公園の数値目標を下方修正	基幹事業	滞在環境整備(宮城野通)	エリア価値向上整備に移行したため、令和5年度に削除	宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	基幹事業	滞在環境整備(肴町公園)※直接	令和3年度に発足したまちづくり協議会を事業主体として実施することとしたため、令和4年度に削除	肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	提案事業	なし	—	—			
新たに追加した事業	基幹事業	高質空間形成施設(定禅寺通)	再整備方針に基づく道路空間再構成を進めるため、令和4年度に追加	「定禅寺通」における指標を追加	基幹事業	エリア価値向上整備(肴町公園)	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)	肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	基幹事業	エリア価値向上整備(青葉通(一番町))	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)	なし	基幹事業	エリア価値向上整備(宮城野通)	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)	宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	提案事業	事業活用調査(都心部滞在状況調査)	賑わい創出の効果を客観的に評価するため、令和5年度に追加	なし
	基幹事業	滞在環境整備(市役所本庁舎建替)	市役所本庁舎建替に伴う低層部社会実験実施のため、令和4年度に追加	なし	基幹事業	滞在環境整備(青葉通(一番町))	一番町周辺での社会実験実施のため、令和4年度に追加	なし	提案事業	まちづくり活動推進事業(協議会設立に向けた研修講師派遣(市役所本庁舎建替))	市役所本庁舎建替後の低層部の一体的利活用にあたってのエリアプラットフォーム構築のため、令和3年度に追加	なし								
	基幹事業	滞在環境整備(肴町公園)※間接	令和3年度に発足したまちづくり協議会を事業主体として実施することとしたため、令和3年度に追加	肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く																
	交付期間の変更	当初	—	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		—														
	変更	—																		
	2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み		効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期						
		指標	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	○	あり	なし										
		指標1	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(宮城野通)	ポイント	48	R2	52	R7	54	56	○	あり	-	仙台駅東1号・2号公園の整備完了、榴岡公園や宮城野通における社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、ほこみちの指定等により、通りの魅力向上につながったと思われる	-					
		指標2	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(肴町公園)	ポイント	28	R2	32	R7	45	51	○	あり	-	肴町公園での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、周辺エリアの飲食店の増加などにより、公園周辺の魅力向上につながったと思われる	-					
		指標3	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(定禅寺通(歩道))	ポイント	49	R6	50	R7	-	60	○	あり	-	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運醸成につながったと思われる	R8.5 (工事完了後)					
指標4	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(定禅寺通(緑地))	ポイント	51	R6	53	R7	-	57	○	あり	-	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運醸成につながったと思われる	R8.5 (工事完了後)							

	指標		単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因 (総合所見)	フォローアップ 予定時期	
				基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
3) その他の数値指標 (当初設定した数値 目標以外の指標)に よる効果発現状況	その他の 数値指標1	エリア内活動量 (定禅寺通、青葉通、宮 城野通(滞在者数×滞 在時間))	人・時	23.4	R5			22.1	16.8			エリアの一部が工事中等の理由により 従前値より低い評価となったが、再整 備や賑わい創出の取り組みを進めるこ とで、滞在者数等の向上につながって いくと思われる	-	
	その他の 数値指標2	公園内のイベント開催 回数(仙台駅東1号・2号 公園)	回	0	R2			1	1			仙台駅東1号・2号公園の整備完了によ り、都心のみどりの拠点・多様な人々が 集う交流拠点が形成され、居心地がよ く巡り歩きたくなるまちなかの空間づく りに寄与している	-	
	その他の 数値指標3	公園愛護協会による 活動回数(仙台駅東1 号・2号公園)	回	0	R2			6	12			仙台駅東1号・2号公園の整備完了によ り、都心のみどりの拠点・多様な人々が 集う交流拠点が形成され、居心地がよ く巡り歩きたくなるまちなかの空間づく りに寄与している	-	
	その他の 数値指標4	仙台市市民意識調査 (居心地がよく、巡り歩き たくなるまちなかの空間 づくり)	点	2.96	R4			2.96	2.96			都心部の通り・公園などにおいて、官民 連携での賑わい創出の取り組みを継続 していること。また、人中心の空間形成 のハード整備に取り組んでいること等 が評価につながったと思われる	-	
4) 定性的な効果 発現状況	各エリアで社会実験やハード整備が行われることにより、まちづくりの機運が高まり、都心全体の回遊性向上につながっている。													
5) 実施過程の評価			実施内容				実施状況				今後の対応方針等			
	モニタリング		「まちなかの居心地の良さを測る指標(案)」を毎年度測定				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	次期計画に向けては、近年のAIやビックデータなどを活用した測定 方法についても検討する。		
	官民連携による 取組		・定禅寺通空間再構成に係る社会実験及びシンポジウム ・青葉通駅前エリアのあり方検討(未来ビジョン検討策定、 社会実験、市民参画イベント) ・青葉通(一番町)周辺の公共空間利活用社会実験 ・宮城野通社会実験及び沿道地権者等への意見聴取 ・榴岡公園利活用社会実験 ・肴町公園拠点整備社会実験及びワークショップ ・市役所本庁舎建て替えに伴う社会実験				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	社会実験やイベント等の成果を活かしつつ、賑わい創出の取り組 みを継続し、エリア特性を活かしたまちづくりを推進することで、都 心部全体の回遊性向上を目指す。		
	持続的なまちづくり 体制の構築		・市役所本庁舎再整備後の低層部の一体的利活用に あたってのエリアプラットフォーム構築				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				○	令和10年度の新たな庁舎低層部等一体的利活用の開始に向けて、 引き続き有識者や地域関係者等を交えた検討を進める。		

様式2-2 地区の概要

仙台都心地区(宮城県仙台市) 都市再生整備計画事業の成果概要								
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値				
大目標：東北の中核都市として、国際競争力を有し、賑わいと交流、継続的な経済活力を生み出し続ける躍動する都心の実現 目標1：エリア特性を活かした回遊性が高く巡り歩ききたくなる街路空間の創出 目標2：杜の都にふさわしい高質で居心地の良い緑空間の創出 目標3：公民連携による多様な人々の出会いや交流が生まれる滞留空間や交流拠点の創出	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(宮城野通)	単位:ポイント 48	R2 52	R7 56	R7			
	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(肴町公園)	単位:ポイント 28	R2 32	R7 51	R7			
	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(定禅寺通(歩道))	単位:ポイント 49	R6 50	R7 60	R7			
	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(定禅寺通(緑地))	単位:ポイント 51	R6 53	R7 57	R7			

まちの課題の変化	<ul style="list-style-type: none"> ・定禅寺通、青葉通、宮城野通などのまちづくり協議会や市民団体等と連携し、エリアの特徴を生かした様々な社会実験やイベントを実施したことで、エリア内の賑わいと魅力が高まり、都心部の回遊性向上に繋がっている。 ・仙台駅前1号・2号公園の整備が完了したことで、公園内で地域住民を中心とした様々なイベントや活動が行われるようになり、地域の交流の場となっている。また、榴岡公園や定禅寺通などの再整備に着手したことで、居心地の良い空間形成への期待が高まり、エリアの魅力向上に繋がっている。 ・地域と連携しながら社会実験を繰り返し行い、R4年度に定禅寺通・稲荷小路、R5年度に宮城野通・虎屋横丁をほこみち指定し、地域が活用しやすい道路空間を形成した。また、R6年度には、定禅寺通周辺のエリアマネジメントに取り組む一般社団法人定禅寺通エリアマネジメントを都市再生推進法人に指定し、民間活力を生かしたまちづくりを推進している。 ・再整備完了後を見据え、都市再生推進法人による中間支援などの仕組みづくりによる持続的な官民連携のまちづくりについて検討が必要。
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き各エリアのまちづくり団体への伴走支援を行い、エリアの特徴を生かした賑わい創出に官民連携で取り組む。 ・榴岡公園や定禅寺通などの再整備が円滑に進むよう地域や管理者等との協議・調整を丁寧に進める。 ・ほこみち区域の利活用団体や都市再生推進法人等の民間活力を生かし、地域のニーズに即した新たなまちづくりに取り組む。 ・都市再生推進法人等と連携し、イベント主体が活用しやすい仕組みづくりや持続的なエリアマネジメントに向けた検討を進める。

都市再生整備計画 事後評価シート (添付書類)

(1) 成果の評価

- 添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無
- 添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(完成状況)
- 添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況
- 添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)により計測される効果発現の計測
- 添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

(2) 実施過程の評価

- 添付様式3-① モニタリングの実施状況
- 添付様式3-② 官民連携による取組みの実施状況
- 添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

(3) 効果発現要因の整理

- 添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制
- 添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理
- 添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

(4) 今後のまちづくり方策の作成

- 添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制
- 添付様式5-② まちの課題の変化
- 添付様式5-③ 今後のまちづくり方策
- 添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見
- 添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画
- 添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方
- 添付様式6-参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

(5) 事後評価原案の公表

- 添付様式7 事後評価原案の公表

(6) 評価委員会の審議

- 添付様式8 評価委員会の審議

(7) 有識者からの意見聴取

- 添付様式9 有識者からの意見聴取

(1) 成果の評価

添付様式1-① 都市再生整備計画に記載した目標の変更の有無

	変更		変更前	変更後	変更理由
	あり	なし			
A. まちづくりの目標		●	—	—	—
B. 目標を定量化する指標	●		—	定禅寺通における指標を追加	ハード整備を実施する定禅寺通空間再構成の事業について評価する必要があるため
C. 目標値	●		宮城野通における指標について、従前値から+5ポイントを目指す。 肴町公園における指標について、従前値から+10ポイントを目指す。	宮城野通における指標について、数値目標を+4ポイントに下方修正。 肴町公園における指標について、数値目標を+4ポイントに下方修正。	公園事業の先送り等により、本計画期間内での完成が困難となったため
D. その他()		●	—	—	—

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
公園	榴岡公園	160.0	広場再整備	84.4	広場再整備	地域との合意形成等に時間を要したことを起因とする施工時期の見直しによる事業費の減額	宮城野通の数値目標を下方修正		●
	肴町公園	40.0	施設設計	0.0	—	災害時の地域利用の観点から、別事業(防交安)として実施することとしたため、令和6年度に削除	肴町公園の数値目標を下方修正	—	
	仙台駅東1号・2号公園	50.0	施設整備	50.0	施設整備	なし	なし	●	
高質空間形成施設	定禅寺通			1,725.4	道路空間再構成	再整備方針に基づく道路空間再構成を進めるため、令和4年度に追加	定禅寺通における指標を追加		●
エリア価値向上整備	肴町公園			5.5	社会実験	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)	肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	●	
	青葉通(一番町)			0.3	社会実験	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)	なし	●	
	宮城野通			1.6	社会実験	公民連携による取組を推進するため、令和4年度に追加(滞在環境整備より移行)	宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	●	
滞在環境整備	市役所本庁舎建替			22.7	社会実験	市役所本庁舎建替に伴う低層部社会実験実施のため、令和4年度に追加	なし	●	
	定禅寺通	194.0	社会実験 エリアビジョン・再整備方針策定	201.6	社会実験 エリアビジョン・再整備方針策定	なし	なし	●	
	青葉通	10.7	社会実験	463.5	社会実験 エリアビジョン策定	車線減少を伴う大規模社会実験実施による事業費の増額	なし	●	
	青葉通(一番町)			0.3	社会実験	一番町周辺での社会実験実施のため、令和4年度に追加	なし	●	
	宮城野通	7.6	社会実験	0.0	—	エリア価値向上整備に移行したため、令和5年度に削除	宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	—	
	肴町公園※直接	11.6	社会実験	0.0	—	令和3年度に発足したまちづくり協議会を事業主体として実施することとしたため、令和4年度に削除	肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	—	
	肴町公園※間接			5.4	社会実験	令和3年度に発足したまちづくり協議会を事業主体として実施することとしたため、令和3年度に追加	肴町公園の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く	●	
	榴岡公園	14.0	社会実験	67.4	社会実験 トイレ改修	トイレ改修事業の追加による事業費の増額	宮城野通の指標に関連するが、影響は少ないため、数値目標は据え置く		●

※1:事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(2,628.1)

添付様式1-② 都市再生整備計画に記載した事業の実施状況(事業の追加・削除を含む)

基幹事業									
事業	事業箇所名	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地区再開発事業	—								
バリアフリー環境整備事業	—								
優良建築物等整備事業	—								
住宅市街地総合整備事業	—								
街なみ環境整備事業	—								
住宅地区改良事業等	—								
都心共同住宅供給事業	—								
公営住宅等整備	—								
都市再生住宅等整備	—								
防災街区整備事業	—								

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

提案事業									
事業	細項目	当初計画		最終変更計画		当初計画からの 変更の概要 ※1 (事業の削除・追加を含む)	都市再生整備計画に記載した まちづくり目標、目標を定量化する指標、数値目標等への影響	事後評価時の完成状況	
		事業費	事業内容	事業費	事業内容			完成	完成見込み
地域創造 支援事業	—								
事業活用調査	都心部滞在状況調査			32.1	調査	賑わい創出の効果を客観的に評価するため、令和5年度に追加	なし		●
まちづくり 活動推進事業	協議会設立に向けた研修講師派遣			9.4	講師派遣	市役所本庁舎建替後の低層部の一体的活用にあたってのエリアプラットフォーム構築のため、令和3年度に追加	なし	●	

※1: 事業費の大幅変更、新規追加がある場合は理由を明記のこと

(41.5)
2,669.6

(参考)関連事業									
事業	細項目	事業箇所名	事業費		事業期間		進捗状況及び所見	備考	
			当初計画	最終変更計画	当初計画	最終変更計画			
無電柱化事業		青葉山線	-	-	R2~R11	R2~R11	令和11年度完成予定		
無電柱化事業		東八番丁小田原(その1)線外2線	-	-	R2~R12	R2~R12	令和12年度完成予定		
仙台駅西口駅前広場再整備			-	-	H24~R4	H24~R4	令和4年度完成		
仙台市役所本庁舎建替え		仙台市青葉区国分町三丁目7-1	-	-	H28~R12	H28~R12	令和12年度完成予定		
西公園再整備事業			-	-	H17~R3	H17~R9	令和9年度完成予定		
勾当台公園再整備事業			-	-	R2~R12	R2~R12	令和12年度完成予定		
アーバンネット仙台中央ビル		仙台市青葉区中央四丁目	-	-	R2~R5	R2~R5	令和5年度完成		

添付様式2-① 都市再生整備計画に記載した数値目標の達成状況

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)	従前値 (イ)		目標値 (ウ)		数値 (エ)			目標達成度※2		1年以内の達成見込みの有無		
				基準年度	基準年度	目標年度	目標年度	モニタリング	事後評価	モニタリング	事後評価	あり	なし		
指標1	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(宮城野通)	ポイント	-	-	48	R2	52	R7	モニタリング	R6	54	モニタリング	○		
									事後評価	確定見込み ●	56	事後評価	○		
指標2	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(肴町公園)	ポイント	-	-	28	R2	32	R7	モニタリング	R6	45	モニタリング	○		
									事後評価	確定見込み ●	51	事後評価	○		
指標3	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(定禅寺通(歩道))	ポイント	-	-	49	R6	50	R7	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み ●	60	事後評価	○		
指標4	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(定禅寺通(緑地))	ポイント	-	-	51	R6	53	R7	モニタリング	-	-	モニタリング	-		
									事後評価	確定見込み ●	57	事後評価	○		
指標5	-								モニタリング			モニタリング			
									事後評価	確定見込み		事後評価			

指標	目標達成度○△×の理由 (達成見込み「あり」とした場合、その理由も含む)	その他特記事項 (指標計測上の問題点、課題等)
指標1	仙台駅東1号・2号公園の整備完了、榴岡公園や宮城野通における社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、ほこみちの指定等により、通りの魅力向上につながったと思われる	職員直営で調査を行っているため、調査日数を多く確保できない
指標2	肴町公園での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、周辺エリアの飲食店の増加などにより、公園周辺の魅力向上につながったと思われる	同上
指標3	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運醸成につながったと思われる	同上
指標4	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運醸成につながったと思われる	同上
指標5		

※1 計画以前の値とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

※2 目標達成度の記入方法

○: 評価値が目標値を上回った場合

△: 評価値が目標値には達していないものの、近年の傾向よりは改善していると認められる場合

×: 評価値が目標値に達しておらず、かつ近年の傾向よりも改善がみられない場合

添付様式2-② その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現の計測

指標	データの計測手法と評価値の求め方 (時期、場所、実施主体、対象、具体手法等)	単位	(参考)※1 計画以前の値 (ア)		従前値 (イ)		数値 (ウ)			本指標を 取り上げる理由	その他特記事項 (指標計測上の 問題点、課題等)
			基準 年度		基準 年度						
その他の 数値指標1	エリア内活動量 (定禅寺通、青葉通、宮城野通(滞在者数×滞在時間))	人・時	-	-	23.4	R5	モニタリング	R6	22.1	本計画におけるハード及びソフト施策の両面により滞在快適性が向上し、エリア内での滞在者数や滞在時間が増加すると考えられるため	
							事後評価	確定 見込み ●	16.8		
その他の 数値指標2	公園内の イベント開催回数	回	-	-	0	R2	モニタリング	R5	1	公園整備により地域での利活用の実績が増えると考えられるため	
							事後評価	確定 見込み ●	1		
その他の 数値指標3	公園愛護協力会 による活動回数	回	-	-	0	R2	モニタリング	R5	6	公園整備により地域での利活用の実績が増えると考えられるため	
							事後評価	確定 見込み ●	12		
その他の 数値指標4	仙台市市民意識調査	点	-	-	2.96	R4	モニタリング	R5	2.96	本市が取り組むまちなかウォークアブル推進事業に関する広く市民からの評価であるため	
							事後評価	確定 見込み ●	2.96		

※1 計画以前の値 とは、都市再生整備計画の作成より以前(概ね10年程度前)の値のことをいう。

添付様式2-参考記述 定量的に表現できない定性的な効果発現状況

--

(2) 実施過程の評価

・本様式は、都市再生整備計画への記載の有無に関わらず、実施した事実がある場合には必ず記載すること。

添付様式3-① モニタリングの実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
まちなかの居心地の良さを測る指標 (案)の調査要領に基づく調査	予定どおり実施した	【実施頻度・時期】 毎年1回、春または秋頃に実施 【実施結果】 ポイントの増減はあるものの順調に事業の効果が表れている	次期計画に向けては、近年のAIやビックデータなどを活用した測定方法についても検討する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

添付様式3-② 官民連携による取組の実施状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	実施状況	実施頻度・実施時期・実施結果	今後の対応方針等
定禅寺通空間再構成に係る社会実験 及びシンポジウム	予定どおり実施した	【実施頻度・時期】 沿道関係者を中心とした定禅寺通活性化検討会を2018年度に設立して以降、ワーキンググループ(全10回)やパブリックミーティング(全4回)を開催。また、毎年複数回の社会実験を実施し、2021年度には車線規制を伴う大規模社会実験を実施した。 【実施結果】 2022年3月に定禅寺通エリアまちづくり基本構想を策定。また、基本構想を踏まえ、市が2023年3月に定禅寺通再整備方針を策定した。	引き続き、地元まちづくり団体の活動を支援するとともに、再整備後を見据えた利活用の仕組みの検討を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
青葉通駅前エリアのあり方検討(未来ビジョン検討策定、社会実験、市民参画イベント)	予定どおり実施した	【実施頻度・時期】 青葉通の仙台駅前エリアにおけるビジョンの策定等を目的とした、学識経験者や商工関係者、沿道地権者等により構成する「青葉通駅前エリアのあり方検討協議会」を2021年度に立ち上げ、協議会(11回)やワーキンググループ(8回)、市民参画イベント(5回)を開催。また、2022年度には車線規制を伴う大規模社会実験を実施した。※回数については2025.10時点 【実施結果】 2025年3月に、今後のまちづくりの理念等をまとめた「青葉通仙台駅前エリア未来ビジョン」を策定。	官民が一体となって青葉通エリアの価値向上を図るため、道路空間再構成や沿道開発への機能誘導、エリアマネジメントの推進を目的とした「(仮称)青葉通空間構想」を官民連携により策定する。策定後には、青葉通の道路空間再構成に向け方針策定等を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		
青葉通(一番町)周辺の公共空間利活用社会実験	予定どおり実施した	【実施頻度・時期】 2022年度から2025年度にかけて、歩道や地下道などの公共空間を活用したイス、家具等の設置による滞在環境の整備や、キッチンカーやストリートピアノの設置などによるにぎわいの創出を目的とした社会実験を実施した。 【実施結果】 上記社会実験の実施により、青葉通の公共空間へのイスや家具等の整備やイベントの開催が、快適性の向上および周辺のにぎわいの創出に寄与することが確認できた。	2018年度に青葉通まちづくり協議会が市に提言した「青葉通まちづくりビジョン」と照らし合わせ、今後、青葉通の将来像の実現に向けた公共空間の活用について検討を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった (理由)		

宮城野通等利活用社会実験	予定どおり実施した	● 【実施頻度・時期】 拡張整備された仙台駅東口ペDESTリアンデッキから宮城野通への人の流れを生み出す取組み推進のため、安全な利活用となる公共空間の範囲把握を目的とした地元まちづくり協議会主体の社会実験を2023年に実施。 【実施結果】 社会実験を踏まえ、2024年3月には宮城野通の一部について歩行者利便増進道路(ほこみち)及び利便増進誘導区域の指定をうけ、地元まちづくり協議会による新たな取組みの実施や検討が活発に進められている。	引き続き、当該エリアの賑わい創出に向けた地元まちづくり協議会の取組みを支援する。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
榴岡公園利活用社会実験	予定どおり実施した	● 【実施頻度・時期】 2021年度から2024年度まで、地域団体においてパーベキュー会場やドッグランの設置、キッチンカー出店、遊具等の貸し出し等の社会実験を行った。 【実施結果】 2025年度からは、民間利活用におけるにぎわいづくりの推進と公園利用者の安全・安心を目的とする事業として、地域団体において上記取組みを継続している。	引き続き、地域団体の取組みを支援するとともに、社会実験で実施したアンケートで要望の多かった既設トイレを改修することで、長時間の滞在でも快適な空間となるよう整備を行う。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
着町公園拠点整備社会実験及びワークショップ	予定どおり実施した	● 【実施頻度・時期】 2021年度に公園等の地域資源の活用等の取組みによる地域の価値向上を目的とした「着町公園周辺エリアまちづくり」を設立。同年、下部組織として「着町公園周辺エリアビジョン検討委員会」を立ち上げ、拠点整備に向けた社会実験として、公園内にフードトラックやベンチなどを設置した。 【実施結果】 着町公園周辺エリアビジョン検討委員会が主体となり、エリアの将来像やその実現に向けた取組み、地域の拠点である着町公園の再整備について検討を行うこととした。	引き続き、地域住民との合意形成を図りながら着町公園周辺エリアのまちづくりについて検討を進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		
市役所本庁舎建て替えに伴う社会実験	予定どおり実施した	● 【実施頻度・時期】 令和5年11月3日～12日に開催 【実施結果】 新本庁舎低層部の機能に関する需要や課題の把握、既存イベントとの連携や各種イベントのコーディネートにおける新本庁舎低層部運営事業者の業務の精査、イベント利用者の利便性向上に向けた課題の把握等についてとりまとめ、「新本庁舎低層部等一体的利活用検討会」に報告した。	社会実験の成果等も踏まえながら、新本庁舎低層部運営事業者の公募に係る要件を整理し、令和8年度に運営事業者を選定する等、新本庁舎低層部等の供用開始に向けた取組みを進める。
	予定はなかったが実施した		
	予定したが実施できなかった(理由)		

添付様式3-③ 持続的なまちづくり体制の構築状況

都市再生整備計画に記載した内容 又は、実際に実施した内容	構築状況	実施頻度・実施時期・実施結果		今後の対応方針等
		i. 体制構築に向けた取組内容	ii. まちづくり組織名:組織の概要	
市役所本庁舎再整備後の低層部の一体的利活用にあたってのエアプラットフォーム構築	予定どおり実施した	● 【実施頻度・時期】 令和5年度に「新本庁舎低層部等一体的利活用検討会」を3回開催した。 【実施結果】 令和6年3月に「新本庁舎低層部等一体的利活用検討会報告書」を取りまとめた。	新本庁舎低層部等一体的利活用検討会:新本庁舎低層部等一体的利活用の目指す姿の具体化や、関係者それぞれの役割分担、一体的利活用を支援する仕組み等について検討を行う組織。	令和6年度以降は「都市構造再編集中支援事業補助金」に移行し、有識者や地域関係者等を交えた検討を継続している。令和10年度の新本庁舎低層部等一体的利活用の開始に向けて、引き続き対応を進める。
	予定はなかったが実施した			
	予定したが実施できなかった(理由)			

(3) 効果発現要因の整理

添付様式4-① 効果発現要因の整理にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業評価に関する照会等	都心まちづくり課、本庁舎整備室、道路計画課、公園管理課	令和7年10月17日	都心まちづくり課

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類		指標1	指標2	指標3	指標4	
指標名		まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(宮城野通)	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(肴町公園)	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(定禅寺通(歩道))	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(定禅寺通(緑地))	
種別	事業名・箇所名	指標改善への貢献度	総合所見	指標改善への貢献度	総合所見	
基幹事業	公園(榴岡公園)	◎	仙台駅東1号・2号公園の整備完了、榴岡公園や宮城野通における社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、ほこみちの指定等により、通りの魅力が向上したことから、指標の達成につながったと思われる	-	肴町公園での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組み、周辺エリアの飲食店の増加などにより、公園周辺の魅力が向上したことから、指標の達成につながったと思われる	
	公園(仙台駅東1号・2号公園)	◎		-	工事期間中ではあるものの、定禅寺通周辺での社会実験やイベント等の賑わい創出の取り組みにより、高質で居心地の良い緑空間への機運が高まっていることから、指標の達成につながったと思われる	
	高質空間形成施設(定禅寺通)	-		-	◎	-
	エリア価値向上整備(肴町公園)	-		◎	-	-
	エリア価値向上整備(青葉通(一番町))	-		○	-	-
	エリア価値向上整備(宮城野通)	◎		-	-	-
	滞在環境整備(市役所本庁舎建替)	-		-	○	-
	滞在環境整備(定禅寺通)	-		-	◎	-
	滞在環境整備(青葉通)	-		○	-	-
	滞在環境整備(青葉通(一番町))	-		○	-	-
	滞在環境整備(肴町公園)	-		◎	-	-
	滞在環境整備(榴岡公園)	◎		-	-	-
提案事業	事業活用調査(都心部滞在状況調査)	-	-	-	-	
	まちづくり活動推進事業(協議会設立に向けた研修講師派遣)	-	-	○	○	
関連事業	無電柱化事業(青葉山線)	-	○	-	-	
	無電柱化事業(東八番丁小田原(その1)線外2線)	○	-	-	-	
	仙台駅西口駅前広場再整備	-	-	-	-	
	仙台市役所本庁舎建替え	-	-	○	○	
	西公園再整備事業	-	-	○	○	
	勾当台公園再整備事業	-	-	○	○	
アーバンネット仙台中央ビル	-	-	-	-		

※指標改善への貢献度

- ◎: 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △: 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	指標1	指標2	指標3	指標4
賑わい創出の取り組みを継続し、エリア特性を生かしたまちづくりを推進することで、都心部全体の回遊性向上を目指す。	賑わい創出の取り組みを継続し、エリア特性を生かしたまちづくりを推進することで、都心部全体の回遊性向上を目指す。	賑わい創出の取り組みを継続し、エリア特性を生かしたまちづくりを推進することで、都心部全体の回遊性向上を目指す。	賑わい創出の取り組みを実施しやすい環境を形成するため、歩行者利便増進区域の追加指定など、ソフト施策の検討を進める。	イベント用電源や給排水設備などの増設により、さらなる賑わい向上に努める。

添付様式4-② 数値目標を達成した指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種類別		その他指標1		その他指標2		その他指標3		その他指標4	
指標名		エリア内活動量 (滞在者数×滞在時間)		公園内の イベント開催回数		公園愛護協会 による活動回数		仙台市 市民意識調査	
種別	事業名・箇所名	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見	指標改善 への 貢献度	総合所見
基幹事業	公園(榴岡公園)	◎	エリアの一部が工事中等の理由により従前値より低い評価となったが、再整備や賑わい創出の取り組みを進めることで、滞在者数等の向上につながっていくと思われる	—	仙台駅東1号・2号公園の整備完了により、都心のみどりの拠点・多様な人々が集う交流拠点が形成され、居心地がよく巡り歩きたくなるまちなかの空間づくりに寄与している	—	仙台駅東1号・2号公園の整備完了により、都心のみどりの拠点・多様な人々が集う交流拠点が形成され、居心地がよく巡り歩きたくなるまちなかの空間づくりに寄与している	○	令和4年度から継続して評価が上位であることから、都心部の通り・公園などにおいて、官民連携での賑わい創出の取り組みを継続していること、また、人中心の空間形成のハード整備に取り組んでいること等が評価されていると思われる
	公園(仙台駅東1号・2号公園)	◎		◎					
	高質空間形成施設(定禅寺通)	◎		—					
	エリア価値向上整備(肴町公園)	○		—					
	エリア価値向上整備(青葉通(一番町))	◎		—					
	エリア価値向上整備(宮城野通)	◎		—					
	滞在環境整備(市役所本庁舎建替)	◎		—					
	滞在環境整備(定禅寺通)	○		—					
	滞在環境整備(青葉通)	◎		—					
	滞在環境整備(青葉通(一番町))	◎		—					
	滞在環境整備(肴町公園)	○		—					
	滞在環境整備(榴岡公園)	◎		—					
提案事業	事業活用調査(都心部滞在状況調査)	—	—	—	—	—	—	○	—
	まちづくり活動推進事業(協議会設立に向けた研修講師派遣)	○	—	—	—	—	—	○	—
関連事業	無電柱化事業(青葉山線)	○	—	—	—	—	—	○	—
	無電柱化事業(東八番丁小田原(その1)線外2線)	○	—	—	—	—	—	○	—
	仙台駅西口駅前広場再整備	○	—	—	—	—	—	○	—
	仙台市役所本庁舎建替え	—	—	—	—	—	—	○	—
	西公園再整備事業	○	—	—	—	—	—	○	—
	勾当台公園再整備事業	○	—	—	—	—	—	○	—
	アーバンネット仙台中央ビル	—	—	—	—	—	—	○	—

※指標改善への貢献度

- ◎ : 事業が効果を発揮し、指標の改善に直接的に貢献した。
- : 事業が効果を発揮し、指標の改善に間接的に貢献した。
- △ : 事業が効果を発揮することを期待したが、指標の改善に貢献しなかった。
- : 事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

今後の活用	再整備および賑わい創出の取り組みを継続し、滞在者数等の向上を目指す	地域住民や関係団体との関係性を深め、さらなる賑わい向上に努める	地域住民や関係団体との関係性を深め、さらなる賑わい向上に努める	賑わい創出の取り組みを継続し、エリア特性を生かしたまちづくりを推進することで、都心部全体の回遊性向上を目指す。
-------	-----------------------------------	---------------------------------	---------------------------------	---

添付様式4-③ 数値目標を達成できなかった指標にかかる効果発現要因の整理

指標の種別		指標○			指標○			指標○			指標○		
指標名		—			—			—			—		
種別	事業名・箇所名	目標未達成への影響度	総合所見	要因の分類									
基幹事業													
提案事業													
関連事業													

※目標未達成への影響度

- ××：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の直接的な原因となった。
- ×：事業が効果を発揮せず、指標の目標未達成の間接的な原因となった。
- △：数値目標が達成できなかった中でも、ある程度の効果をあげたと思われる。
- ：事業と指標の間には、もともと関係がないことが明確なので、評価できない。

※要因の分類

- 分類Ⅰ：内的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅱ：外的な要因で、予見が可能な要因。
- 分類Ⅲ：外的な要因で、予見が不可能な要因。
- 分類Ⅳ：内的な要因で、予見が不可能な要因。

改善の方針 (記入は必須)				
------------------	--	--	--	--

(4) 今後のまちづくり方策の作成

添付様式5-① 今後のまちづくり方策にかかる検討体制

名称等	検討メンバー	実施時期	担当部署
都市再生整備計画事業評価に関する照会等	都心まちづくり課、本庁舎整備室、道路計画課、公園管理課	令和7年10月17日	都心まちづくり課

添付様式5-② まちの課題の変化

事業前の課題 都市再生整備計画に記載 したまちの課題	達成されたこと(課題の改善状況)	残された未解決の課題	事業によって発生した 新たな課題
仙台駅周辺に人の流れが集中しており、都心全体への回遊性を高めるためには、人々が巡り歩きたくなる仕掛けづくりが必要である。	・定禅寺通、青葉通、宮城野通などのまちづくり協議会や市民団体等と連携し、エリアの特徴を生かした様々な社会実験やイベントを実施したことで、エリア内の賑わいと魅力が高まり、都心部の回遊性向上に繋がっている。	・特になし	・再整備完了後を見据え、都市再生推進法人による中間支援などの仕組みづくりによる持続的な官民連携のまちづくりについて検討が必要。
より使い易く、居心地の良い空間とするためには、利用者ニーズをふまえた質の高い空間づくりが必要である。	・仙台駅東1号・2号公園の整備が完了したことで、公園内で地域住民を中心とした様々なイベントや活動が行われるようになり、地域の交流の場となっている。また、榴岡公園や定禅寺通などの再整備に着手したことで、居心地の良い空間形成への期待が高まり、エリアの魅力向上に繋がっている。	・特になし	
多様な地域ニーズに応じたきめ細やかなまちづくりを実施するためには、民間活力を活かした公民連携による取り組みが必要である。	・地域と連携しながら社会実験を繰り返し行い、R4年度に定禅寺通・稲荷小路、R5年度に宮城野通・虎屋横丁をほこみち指定し、地域が利活用しやすい道路空間を形成した。また、R6年度には、定禅寺通周辺のエリアマネジメントに取り組む一般社団法人定禅寺通エリアマネジメントを都市再生推進法人に指定し、民間活力を生かしたまちづくりを推進している。	・特になし	

これを受けて、成果の持続にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③A欄に記入します。

これを受けて、改善策にかかる今後のまちづくり方策を添付様式5-③B欄に記入します。

添付様式5-③ 今後のまちづくり方策

	効果の持続を図る事項	効果を持続させるための基本的な考え方	想定される事業
A欄 効果を持続させるため に行う方策	エリアの特徴を生かした様々な社会実験やイベント	・引き続き各エリアのまちづくり団体への伴走支援を行い、官民連携での賑わい創出に取り組む。	・まちづくり団体を主体とした社会実験、イベント等
	居心地の良い空間形成に資する再整備事業	・再整備事業が滞りなく進むよう地域や管理者等との協議・調整を丁寧に進める。	・定禅寺通や榴岡公園などの再整備事業
	民間活力を生かした新たなまちづくり	・巡り歩きたくなる空間形成に向け、ほこみち区域の利活用団体や都市再生推進法人等と連携し、地域のニーズに即した社会実験やイベント等に取り組む。	・まちづくり団体を主体とした社会実験、イベント等

	改善する事項	改善策の基本的な考え方	想定される事業
B欄 改善策 ・未達成の目標を達成するための改善策 ・未解決の課題を解消するための改善策 ・新たに発生した課題に対する改善策	再整備完了後を見据えた利活用の仕組みづくり	・都市再生推進法人等と連携し、イベント主体が利活用しやすい仕組みづくりや持続的なエリアマネジメントに向けた検討を進める。	・道路占用特例、都市利便増進協定などを活用した社会実験、イベント等の実施

フォローアップ又は次期計画等
において実施する改善策
を記入します。

なるべく具体的に記入して下さい。

■様式5-③の記入にあたっては、下記の事項を再確認して、これらの検討結果を踏まえて記載して下さい。(チェック欄)

●	交付金を活用するきっかけとなったまちづくりの課題(都市再生整備計画)を再確認した。
●	事業の実施過程の評価(添付様式3)を再確認した。
●	数値目標を達成した指標にかかる効果の持続・活用(添付様式4-②)を再確認した。
●	数値目標を達成できなかった指標にかかる改善の方針(添付様式4-③)を再確認した。
●	残された課題や新たな課題(添付様式5-②)を再確認した。

添付様式5-参考記述 今後のまちづくり方策に関するその他の意見

添付様式5-④ 目標を定量化する指標にかかるフォローアップ計画

・フォローアップの要否に関わらず、添付様式2-①、2-②に記載した全ての指標について記入して下さい。
 ・従前値、目標値、評価値、達成度、1年以内の達成見込みは添付様式2-①、2-②から転記して下さい。

・評価値が「見込み」の全ての指標、目標達成度が△又は×の指標、1年以内の達成見込み「あり」の指標について、確定値を求めるためのフォローアップ計画を記入して下さい。

指標		単位	従前値		目標値		評価値			目標達成度	1年以内の達成見込みの有無	フォローアップ計画		
			年度	年度	年度	年度	確定	見込み	達成度			予定時期	計測方法	その他特記事項
指標1	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(宮城野通)	ポイント	48	R2	52	R7	確定 ●	56	○	あり	→			
							見込み							
指標2	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(肴町公園)	ポイント	28	R2	32	R7	確定 ●	51	○	あり	→			
							見込み							
指標3	まちなかの居心地の良さを測る指標(ストリート)の総合スコア(定禅寺通(歩道))	ポイント	49	R6	50	R7	確定 ●	60	○	あり	→	R8年5月	定禅寺通(歩道)において、まちなかの居心地の良さを測る指標(案)の調査要領に基づく調査を実施	工事完成後に実施
							見込み ●							
指標4	まちなかの居心地の良さを測る指標(広場・公園)の総合スコア(定禅寺通(緑地))	ポイント	51	R6	53	R7	確定 ●	57	○	あり	→	R8年5月	定禅寺通(緑地)において、まちなかの居心地の良さを測る指標(案)の調査要領に基づく調査を実施	工事完成後に実施
							見込み ●							
指標5							確定 ●			あり	→			
							見込み							
その他の数値指標1	エリア内活動量(滞在者数×滞在時間)	人・時	23.4	R5			確定 ●	16.8			→			
その他の数値指標2	公園内のイベント開催回数	回	0	R2			確定 ●	1			→			
							見込み							
その他の数値指標3	公園愛護協会による活動回数	回	0	R2			確定 ●	12			→			
							見込み							
その他の数値指標4	仙台市市民意識調査	点	2.96	R4			確定 ●	2.96			→			
							見込み							

添付様式6 当該地区のまちづくり経験の次期計画や他地区への活かし方

・下表の点について、特筆すべき事項を記入します。

項目		要因分析	次期計画や他地区への活かし方
数値目標 ・成果の達成	うまくいった点	・滞在者や通行者にとっての居心地の良さや場の使いやすさの視点からまちの状況を把握することができた。	・次期計画に向けては、近年のAIやビッグデータなどを活用した測定方法についても検討する。
	うまくいかなかった点	・職員直営での作業となるため、調査日数を多く確保できなかった。	
数値目標と 目標・事業との 整合性等	うまくいった点	・公園の整備や公共空間におけるイベント等の社会実験など事業の実施により、多様な人々の出会いや交流する空間が創出されたことが数値の増加につながったと考えられる。	
	うまくいかなかった点		
住民参加 ・情報公開	うまくいった点	・行政によるまちづくり団体等への伴走支援を積極的に取り組むことで、巡り歩きたくなる空間形成に寄与した。	
	うまくいかなかった点		
PDCAによる事業 ・評価の進め方	うまくいった点	・事業担当課とまちづくり担当課が積極的に連携することで、ハードとソフトの両輪でまちの賑わいの創出や魅力の向上に取り組むことができた。	
	うまくいかなかった点		
その他	うまくいった点		
	うまくいかなかった点		

添付様式6－参考記述 今後、都市再生整備計画事業の活用予定、又は事後評価を予定している地区の名称(当該地区の次期計画も含む)

・今後の都市再生整備計画事業の活用予定
当該地区の次期計画(都市再生整備計画 仙台都心地区(第2期))を実施する。

(5) 事後評価原案の公表

添付様式7 事後評価原案の公表

公表方法	具体的方法	公表期間・公表日	意見受付期間	意見の受付方法	担当部署
インターネット	市ホームページ掲載	令和7年10月28日～11月10日	令和7年10月28日～11月10日	担当課への 郵送、FAX、持参	市街地整備課 (都市再生整備計画 主管課)
広報掲載・回覧・個別配布	広報紙に市のホームページで 原案を公表している旨を掲載	令和7年11月1日発行 令和7年11月号	令和7年10月28日～11月10日		
説明会・ワークショップ	—	—	—		
その他	閲覧	令和7年10月28日～11月10日	令和7年10月28日～11月10日		

住民の意見	
-------	--

(6) 評価委員会の審議

添付様式8 評価委員会の審議

委員構成		実施時期	担当部署	委員会の設置根拠	委員会の母体組織
学識経験のある委員	仙台市都市再生整備計画評価委員会 委員長 奥村 誠 国立大学法人東北大学 災害人文社会研究部門 教授（都市計画等） 委員 遠藤 智栄 株式会社ばとん 代表取締役（まちづくり等） “ 石内 鉄平 公立大学法人宮城大学 事業構想学群 教授（地域計画等） “ 佃 悠 国立大学法人東北大学 大学院工学研究科・工学部 准教授（建築計画等）	令和7年12月1日	市街地整備課 （都市再生整備計画 主管課）	仙台市都市再生整備 計画評価委員会設置 要綱	独自に設置
その他の委員	—				

審議事項※1		委員会の意見
事後評価 手続き等 にかかる 審議	方法書	・方法書に従って、事後評価が適正に実施されたことが確認された。
	成果の評価	・まちなかの居心地の良さを図る指標の数値目標が達成されたことが確認された。 ・まちなかの居心地の良さを図る指標の調査項目については、各エリアの特性に合わせた内容も含め検討してはどうかという意見があり、次期計画の指標検討の参考にすることとした。 ・次期計画では質的な評価と量的な評価を抱き合わせて実施することが重要という意見があり、次期計画の指標検討の参考にすることとした。
	実施過程の評価	・特になし。
	効果発現要因の整理	・目標に合わせたターゲットを想定したうえで仕掛けを考えるべきではないかという意見があり、今後の新規事業や取り組みの立ち上げの際に参考にすることとした。
	事後評価原案の公表の 妥当性	・事後評価原案の公表は妥当であると認められた。
	その他	・特になし。
	事後評価の手続きは妥当に 進められたか、委員会の確認	・事後評価の手続きは妥当であると認められた。
今後の まちづくり について 審議	今後のまちづくり方策の作成	・仙台の緑を活かしたウォークラブル空間という観点からエリアマネジメントを考えてほしいという意見があり、各エリアのまちづくり協議会等が参加する勉強会等を通じて、緑を活かした都心全体の回遊性向上について、官民連携で取り組むこととした。 ・青葉通や定禅寺通について高齢者フレイルの健康増進の観点から休憩スペースの整備を期待する意見があり、定禅寺通のツリーサークルベンチや宮城野通の楽天ベンチ等滞在しやすい環境づくりに継続して取り組むこととした。 ・仙台は成熟した都市であることから、夜の時間帯も歩きやすく滞在しやすいことがまちづくりには重要ではないかという意見があり、夜間の活動にも配慮した空間づくりの検討の参考にすることとした。 ・出店者の占用許可や衛生関係の手続きの複雑さが課題であるという意見があり、まちづくり協議会による中間支援や行政手続きの見直しなど出店者の負担が軽減するような仕組みづくりの検討の参考にすることとした。 ・都心のまちづくりにおいては、様々な使い方や要望が状況に応じて変化することに対応できる柔軟性・余裕を都市空間の中に持つということや地域からの提案を積極的に評価し挑戦できる都市にすることが重要ではないかという意見があり、そのような視点を踏まえて方策を作成することとした。
	フォローアップ	・特になし。
	その他	・特になし。
	今後のまちづくり方策は 妥当か、委員会の確認	・今後のまちづくり方策は妥当であると認められた。
その他	・特になし。	

※1 審議事項の詳細は「まちづくり交付金評価委員会チェックシート」を参考にしてください。

(7) 有識者からの意見聴取

添付様式9 有識者からの意見聴取

・この様式は、効果発現要因の整理(添付様式5)、今後のまちづくり方策の検討(添付様式6)、評価委員会の審議(添付様式9)以外の機会に、市町村が任意に有識者の意見聴取を行った場合に記入して下さい。

意見聴取した有識者名・所属等	実施時期	担当部署
—	—	—
—	—	—

有識者の意見	—
--------	---